ROTARY CLUB OF HEKINAN WEEKLY

碧南ロータリークラブ週報

第２６１４回例会 平成２４年１０月２４日(水)

●会長 黒田 昌司
●幹事 木村 徳雄
●会場監督(SAA) 新美 雅浩

2012-2013 年度　国際ロータリーのテーマ

■例会日　毎週水曜日　12:30　■例会場　碧南商工会議所ホール
■事務局　碧南商工会議所内　〒447-8501　愛知県碧南市源氏神明町 90
TEL<0566>41-1100　FAX<0566>48-1100
ホームページ：http://www.hekinan-rc.jp
E-mail:info@hekinan-rc.jp
■会報委員　菅原優・鈴木泰博・服部弘史・大竹密貴

●斉　唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

●本日のメニュー

和風弁当　大正館

●本日のお客様

宿縁寺　若院　織田顕慶様

会　長　挨　拶

黒田昌司会長

先々週ですが、１０月１５日から１０月２１日まで東山動物園の日本ザルの「ムコドノ」が逃走を致しました。ムコドノは、２年前は野生であったわけですが、なぜか東山動物園に遊びに来まして、捕まって檻の中に入れられました。当時の東山動物園の日本ザルの小屋はメスばかりで、人間でいうと中年女性で、ムコドノは当時中学生ぐらいの男子でした。それで一緒の檻に入れられて６日間逃げておりました。そこで本日は、お猿さんのお話をしてみたいと思います。

数百万年前は、チンパンジーやゴリラと人間の染色体の数は４６本で一緒でした。何が違うかと言いますと、数百万年前に人間の祖先もチンパンジーも同じ様な森に住んでいました。ある時に、人間の祖先がチンパンジーよりケンカが弱くて森から追いやられました。その後、チンパンジーは森で安穏な生活をしていて、人間は木も餌もないサバンナの方へ追いやられました。外敵にも襲われる中で、祖先はどうしたら身を守れるか、どうしたら食料を採る事ができるか、作る事ができるかという事を考えました。そして数百万年後、人間とチンパンジーの差がでてきたのではないか、と思います。

誰でもそうでしょうが、辛いだとか厳しい生活をしていた方が、いろいろ人間というものは考えて、辛さ厳しさを打開しようといろんな手段を考えます。ぬるま湯に浸かっていると現状がいいのではないかと、これ以上発展がないというようになってしまいます。今の若者たちは、仕事で辛かったりするとすぐ仕事をかえてしまう人たちが多いわけですが、より厳しい、より

辛い経験をさせる事によって、より人間ができてくるのではないか、と思います。

幹　事　報　告

木村徳雄幹事

- 明日の２５日（木)、一色ロータリークラブの創立５０周年式典に行って参ります。
- 日本芸術院会員の山本眞輔彫刻展が１１月１６日から２５日にございます。興味のある方はぜひお願いします。
- 今週の２７日、地区大会がウェスティンナゴヤキャッスルで行われます。行かれる方は身分証とパンフレットの持参をお願い致します。バスで行かれる方は、当日バス内で配布致します。
- ２７日は紺野美沙子さんが、２８日は落合元監督が話されます。
- １０月の赤い羽根の共同募金が、ロータリー目標の半分もいっておりません。我こそはという方がいらっしゃいましたら、今週と来週の２回ありますので、よろしくお願い致します。

委　員　会　報　告

＜出席奨励委員会＞

総会員数 68 名（内出席免除者 13 名の内出席者 9 名)出席者 54 名	
出席対象者　54／63 名	出　席　率　　85.71%
欠席者 14 名(病欠者１名)	前々回修正出席率　100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

＜ニコボックス委員会＞

長田　昌昇君　新美孝様、森田英治様に大変楽しい時間をいただきました。ありがとうございました。

黒田　昌司君　１０月２１日大浜寺町ウォーキング、盛況のうちに終える事ができました。

石川　春久君　今週の１０月２８日、日曜日昼は１２：１５～１３：００、ＮＨＫ総合「ＮＨＫのど自慢」、夜は１９：３０～２１：００迄、ＮＨＫ-ＢＳプレミアム「第１２回虹の架け橋、まごころ募金コンサート」是非ご覧下さい。

犬塚　敦統君　１０月２０、２１日１００km 歩け歩け大会無事終わりました。参加１,５８１名、完歩１,０６３名、完歩率６７％、多くの人達にお世話になりました。私も６年振りに１００km 歩けました。ありがとうございました。

伊藤　正幸君　１０月度ゴルフ例会にて優勝させていただきました。ありがとうございました。

清澤　聡之君　本日の講師 織田顕慶師を紹介します。

山中　寛紀君　毎年のことではありますが、この度のチャリティーバザーへ沢山ご協力頂き、深謝致します。社会奉仕委員会より御礼申し上げます。

榊原　　健君　先週の職場例会では、菅原さんに大変お世話になり、ありがとうございまし

た。

卓　　話

「雅楽の調べ」　宿縁寺　若院　織田顕慶様

織田顕慶様

今、ご紹介頂きました宿縁寺の若院をやっております織田顕慶と申します。よろしくお願い致します。

一番有名なのは、東大寺の開龕（かいがん）式に、昔は天竺と言っていたインドから８８人のバラモン僧と楽人が招かれて、盛大に開龕式を行ったと、日本書紀に載っております。その遡る事数十年前、天皇がお亡くなりになられた時に、悲しみの中、楽を吹かれたというのが載っております。

シルクロードをはさんで西にはオーケストラ、渡った東に音楽が伝わってきて、最初に高句麗や百済があった朝鮮半島に伝わってきた、右方（うのかた）という音楽が一つあります。右とは別に、中国、天竺（インド)、ベトナム、から来た唐楽を左方（さのかた）といって使い分けております。平安京は役職も左右、街も右京区、左京区に、雅楽も左右に分かれております。楽器もいろいろありましたが、統一されたのが平安京の頃です。現在、雅楽で使っている笛が３本あります。浦安の舞で使用される神楽笛というのは別として、今日お持ちした笛で右と左がしっかり分かれているのが分かるかと思います。また、篳篥（ひちりき）というダブルリードの楽器も数種類あった中、日本で使っていけそうな楽器が１種類だけ残っています。あとは笙（しょう）という楽器の３本の笛があります。あと太鼓が３器と弦物が２つあり、雅楽を構成しております。いろんな音楽が基となって世界最古のオーケストラとして、現在世界中から注目されています。どうして他の国は絶えてしまったかといいますと、日本の場合は、日本の正当な音楽として国で守ってきたから１３００年経ってもそのままの形で残っております。一つの地域、一つの団体で守っていこうと思っても中々大変ですが、日本は国全体で守ってきまして、戦国時代に公家が衰退しまして一時は絶えそうになりましたが、豊臣秀吉がこのままじゃいけないという事で復活させました。復活させたのは豊臣秀吉ですが、雅楽を演奏する際の装束、幕に信長の家紋が並んでいます。そういった歴史の中、公家が衰退しまして、どうしていこうかといった時に、大阪、京都、奈良から楽士を江戸へ連れていきました。現在は宮内庁で、特別国家公務員として護持されてきております。

皆さんが使われている言葉で、「塩梅良く」や「やたらめったら」は雅楽用語で出来ております。「塩梅（あんばい)」とは、梅に塩と書いて「えんばい」が濁って「あんばい」になりました。「やたらめったら」ですが、雅楽の拍子の中に「やたら」という拍子がありますが、ただ拍子は２拍４拍で分けたら２拍ずつですが、この「やたら」は、２拍３拍で指揮者が手を振れない拍で何をやっているか分からない、というところから「やたらめったら」という言葉が発展

していきました。「呂律（ろれつ）」という言葉も、元々は「ろりつ」といって律が何をやっているか分からない、というところから呂律がまわらない、という言葉に発展しました。また、「二の舞を踏む」という言葉も、一の舞をやった後に同じ事をやってもうまくいかない事を、二の舞を踏むという言葉に発展しています。

音色についてですが、右と左で一音ずつ違います。「竜笛（りゅうてき）」ですが、縦横無尽に天まで駆け巡る竜の鳴き声を表します。また、本日持ってはこなかった笙ですが、音が天井にあたって跳ね返ってくる、大変雅な音です。西の方にありますパイプオルガンですが、笙から発展してパイプオルガンが出来ております。また、朝鮮から伝わった「高麗笛（こまぶえ）」を用いたのは、舞楽しかありません。横笛は冬場はお湯で暖めないと竹で出来ておりますので、半音ぐらい下がってしまいます。

雅楽をやるにも音楽をある程度知っていないと中々出来ません。明治６年までは、一般に雅楽を吹いてはいけないという事になっておりました。明治撰定譜が打たれまして、その後一般に演奏出来るようになりました。昔から仏教とは非常に近い存在でありまして、現在では宮内庁から派遣され全国に演奏に行く、という形態をとっております。

「越天楽（えてんらく）」というのが一番知られているかと思いますが、本日はそれを演奏したいと思います。

笙は省かせて頂き、横笛と縦笛を演奏させて頂きましたが、このように雅楽は３管で構成されております。有名な、東儀秀樹さんも宮内庁の楽士をやっておりまして、いろんな音楽とコラボされています。

１個６０円で笛を作れるわけですが、８年かかります。必ず音が出るものではないので、１０個に１個か２個ぐらいです。趣味でないとできません。笙という楽器もとても高額で車１台分ぐらいの額です。演奏するまでにちゃんと暖めてあげないとすぐ錆びてしまう楽器ですので、中々不便な楽器です。

ではこれで「雅楽の調べ」を簡単ではございますが、終わらせて頂きます。ありがとうございました。

次回例会案内　平成 24 年 11 月 7 日（水）

クラブフォーラム「ロータリー財団未来の夢計画について」

地区ロータリー財団委員長　深谷友尋氏